

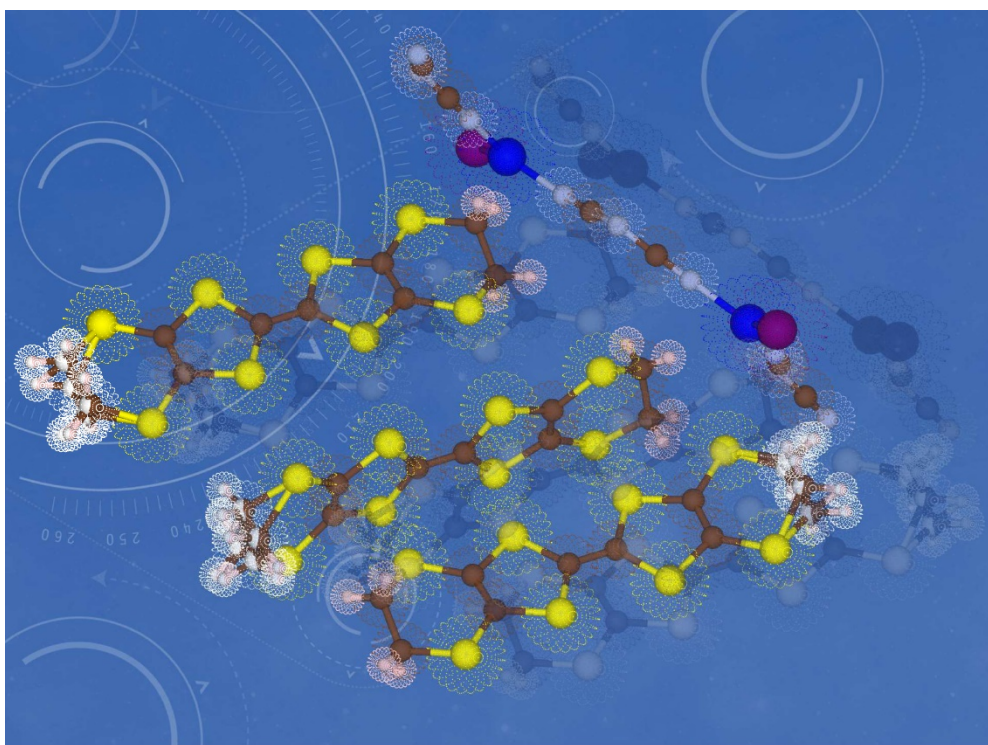
令和 4 年 3 月 28 日
愛 媛 大 学

イギリス王立化学会誌「Materials Advances」 2022 Popular Advances collection に選出

愛媛大学大学院理工学研究科内藤俊雄教授の研究グループが「Materials Advances」誌に発表した論文が、“特に優れた注目すべき論文”を抽出した同誌の“2022 Popular Advances collection”にイギリス王立化学会（RSC）によって選出されました。

選出されたのは、本年 1/26、2/14 にリリースで皆さまへお知らせしている以下の論文です。この論文は、地球温暖化問題の解決や、超高性能コンピューター、リニアモーターカーへの活用などが期待される、超伝導体の実現につながる物質の発見について発表したもので、そのイメージ図が Materials Advances 誌の裏表紙に採用されています。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。



論文題名：Organic charge transfer complex at the boundary between superconductors and insulators: critical role of a marginal part of the conduction pathways（超伝導体とそれ以外の物質の境目に当たる物質）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学 大学院理工学研究科環境機能科学専攻
教授 内藤 俊雄

TEL：089-927-9604

Mail：tnaito@ehime-u.ac.jp

※送付資料 3 枚（本紙を含む）

研究成果の概要

現代社会は、地球規模でエネルギーと環境という難しい問題に直面しています。その解決に科学技術、特に材料科学（マテリアルズ・サイエンス）の果たすべき役割は大きな比重を占めています。中でも特に期待の大きい物質群に、「超伝導体」と呼ばれる材料があります。

超伝導体は、ある温度以下に冷やすと、エネルギー（電力）のロスや発熱をせず、電気を運べるようになります。また、強い反発力を持った磁石にもなるため、乗客を乗せると線路から浮き上がり空中を時速 500 キロで走る列車への活用も期待されています。その他、超高性能のコンピューター、1 ミリ以下の小さな病巣も見逃さない画像診断技術など、超伝導が実用化されれば、様々な夢のハイテク技術が実現します。しかし現状では、超伝導体の数はごく限られています。現在知られている物質の数を地球全体の面積に例えると、そのうち超伝導体の数は 4 畳半程の大きさです。更に、その物質も我々が普段生活している温度では超伝導にならず、マイナス 270°C 付近まで冷やす必要がある物質も珍しくありません。

内藤教授を中心とする研究グループは、愛媛大学「有機超伝導体開発」リサーチユニットにも所属し、これまでも新しい超伝導体を世界に先駆けて実現してきました。今回、そうした物質を開発している中で超伝導体とそれ以外の両方の特徴を持った物質を発見しました。こうした境目をつなぐ物質を詳しく調べると、どうしたら“普通の物質”を超伝導体に変えられるのか、その秘訣が分かります。この物質はこれまで 30 年間にわたり優秀な超伝導体候補として期待されながら、実際にこの物質が超伝導になるかならないか、なるとしたら（ならないとしたら）なぜなのか、研究者間でも見解が一致しませんでした。今回初めてその謎が解けたのです。

今回の論文が掲載された Materials Advances 誌（2020 年創刊）は、ファラデーやダルトンなど理科や化学の教科書に載る世界的に著名な化学者を多数輩出したイギリス王立化学会が発行する学術誌で、世界中から優れた論文が集まります。Materials Advances 誌では、投稿された年間約 1000 報の原稿のうち、査読（掲載の可否を決める際の外部専門家の審査）を通った約 3 割が論文として誌面掲載に至ります。さらに、その中から、査読意見を参考に、特に優れていると認められる論文がその年の“注目すべき論文” = Popular Advances Collection に選ばれ、本年は本論文を含め現在までに 11 件が選ばれています。

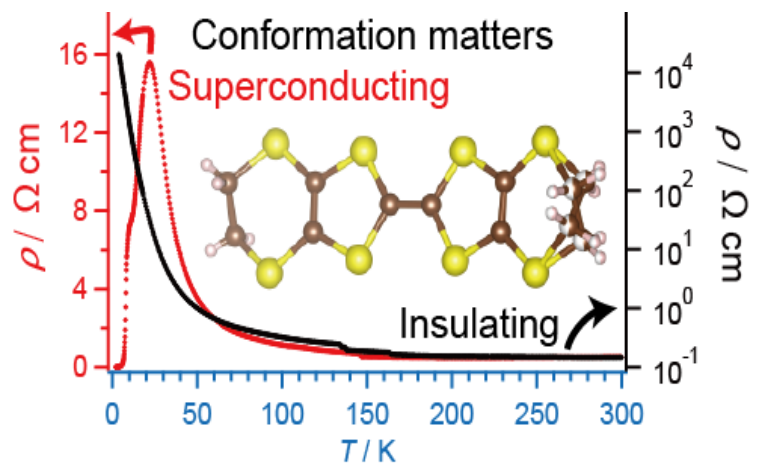


図 1. 物質を構成する分子の電気の通り道ではない部分の形状の違いで、超伝導体（電気を世の中で最も良く流す物質）にも絶縁体（電気を殆ど流さない物質）にもなり得る物質

実際の通知（メール）

Dear Dr Naito,

I am writing on behalf of the Editorial Board to thank and congratulate you for your recent contribution to *Materials Advances*, “Organic charge transfer complex at the boundary between superconductors and insulators: critical role of a marginal part of the conduction pathways”.

I am delighted to let you know that this has been selected for inclusion in the **2022 Popular Advances collection** (including articles which have been very well received by the community). Please find the collection, now including your publication, here: [Materials Advances Popular Advances Collection 2022](#).

Please do share this good news with your community by:

- **Tweeting** about your article using the link: [https://twitter.com/intent/tweet?text=My recent article in Materials Advances has been highlighted as a Popular Advance! Read my article and see the full collection at www.rsc.li/materials-advances](https://twitter.com/intent/tweet?text=My%20recent%20article%20in%20Materials%20Advances%20has%20been%20highlighted%20as%20a%20Popular%20Advance!%20Read%20my%20article%20and%20see%20the%20full%20collection%20at%20www.rsc.li/materials-advances).
- Replying to this email to receive a **promotional slide** template for use in presentations or talks.
- Find our tips and tricks on how best to **maximise your impact** on our author hub: <https://www.rsc.org/journals-books-databases/about-journals/maximise-your-impact/>

Thank you once again for your excellent contribution, and we look forward to receiving your next submission to *Materials Advances*.

Regards,

Dr Hannah Kerr

Deputy Editor, *Materials Advances*

Royal Society of Chemistry

